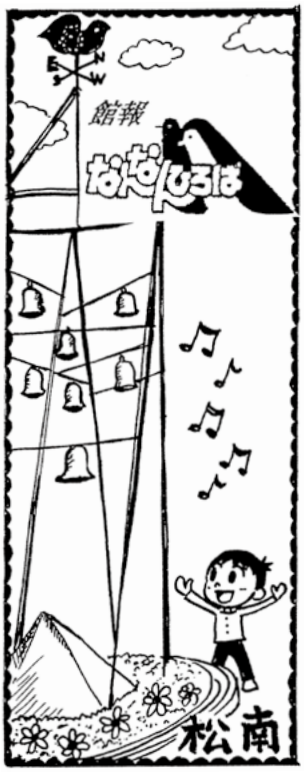

松本南幼稚園との交流会

先生によれば核家族ばかりで、祖父母と同居する子どもたちは1割ほどのこと。高齢者と生身で交わることは、貴重な体験と期待されていました。

6月17日、すでに猛暑の中、園児20名は徒歩で40分かけて到着。心配していた高齢者10名も拍手で出迎え、交流が始まりました。

精一杯の声で『にじ』を合唱し、次は高齢者個々人へのインタビュー。「好きなことは?」「好きな食べ物・果物は?」など質問をポンポンぶつけ、自分のこともいっぱい話しました。足りない話は次回に回し、持参したお弁当タイムとなりました。

年長園児との年8回の計画です。可愛いひと時を皆さんもどうぞ。

（白澤 幸男）

松本南幼稚園からの依頼により年長さんとの交流会が始まりました。クラスごと内容も違うとのこと。6月はこすもす組です。朝からとても暑い日、園から歩いて来てくれました。私たちも「拍手で迎えようか!」と相談しながら子どもたちの登場を待っていました。

歓迎の拍手に照れながらも嬉しそうな様子でした。先生のピアノに合わせて元気よく大きな声で歌の発表がありました。聴いているみなさんも笑顔が溢れるひとときとなりました。

歌の発表の後は質問タイムです。参加者の周りに子どもたちが行き、「好きな色は?」「家に赤ちゃんがいるよ」など会話を楽しみました。

次回も可愛い子どもたちが来るので一緒にふれあいを楽しみませんか。お待ちしています。

（井口 純子）

宮田東公民館カフェプラス

煎りたてのコーヒーを飲みながら、皆さんでパラスポーツのボッチャで盛り上がりました。

カフェを始めたきっかけは町会長をしていた時、「福祉と防災のまちづくり」が始まり、要援護者と横の繋がりを進めて、防災訓練で全戸安否確認を毎年実施しました。その中で、横のつながりの大切さを痛感し、要援護者のリストを町会内に配布、毎年更新しています。

後に、民生委員となり、町会内の横のつながりと世代間交流をするために、自費で器材を揃えて、百円カフェを開きました。

小学生保護者に声掛けをし、子どもたちを誘い、食べて飲んでゲームをして世代間交流を始めています。

翌年、松本市の地域づくりの助成金を受けて、資材もゲームも拡充し、お菓子、飲み物も無料に、順調に進んで3年間の後、コロナで休止になりました。

再開のきっかけは昨年町会長が町会内の横のつながりを大事にするため、公民館カフェプラスを開きたいとのことでした。

私が遊びで作ったコーヒーの自家焙煎機を使ってカフェを開いています。

（岡田 實）

松南地区のできごと

5/24 開明小学校運動会

▶「南中 ソーラン」見事!きれいに揃いました

5/21 つむぎマルシェ

▶にぎやかで、楽しいマルシェです。後ろ姿はつむぎちゃんです

5/29 信明中学校地域一斉清掃

▶街を、川を、地域を、きれいに

5/26 お出かけウォーキング(奈良井宿)

▶ゆったりと、散策できました

6/29 軽スポーツのつどい

▶ボッチャ、囲碁ボール、ダーツなど多彩な種目を楽しみました

6/21 居酒屋町内公民館(双葉町公民館)

▶新しい公民館で盛大に盛り上がりました

コラム松南

●「昔は当たり前」●

先般、親戚の法事に参列した時、和尚様の説法で「今の時代、昔当たり前にできたことができない時代になった」とのお話をされました。内容は、和尚様の知人がガラケーの携帯をスマホに替えたそうです。ある日食事にレストランに入りました。そのレストランはＱＲコードを読み取らせてオーダーするシステムで、スマホのメモリが少なく読み取れなかったためオーダーするのに大変苦労しました。昔なら当たり前に声を掛けるだけで注文できたのに…。

その話を聞いた一ヶ月後に、私が上京したとき電車の切符は自動券売機、ホテルのチェックインも自動機など、これではとても高齢者の一人旅などできるわけないと思いました。

昔なら対面で何でもできたのに…それに、このコラムを書いている最中もテレビでは深刻な米不足を放送しています。昔はお米を安く手に入れることが当たり前だったのに…時代の流れでしょうか？

（下條 今朝男）